スライド 食器洗い乾燥機（家庭用）
ビルトインタイプ（幅45cm）

取扱説明書

保証書付

品名コード **FB4515**
F45B15

もくじ

ごあいさつ

このたびは、ハーマンの食器洗い乾燥機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

○この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、弊社にお問い合わせください。

特定保守製品

この製品は、消費者生活用製品安全法（消安法）で指定される「特定保守製品」です。この製品の所有者は消安法上、点検期間中に法定点検（有償）を行うことが求められています。

HARMAN

36398660
TW86-06

1 安全上のご注意

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

使用される方や、他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

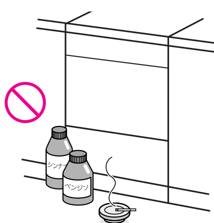
指に注意	接触禁止	火気禁止	一般的な注意喚起
水ぬれ禁止	必ず行う	一般的な禁止	分解禁止
アース必要			

⚠警告



火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない

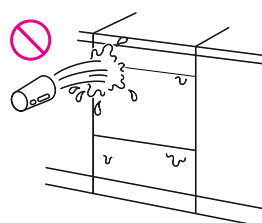
変形や火災のおそれがあります。





水につけたり、水をかけたりしない

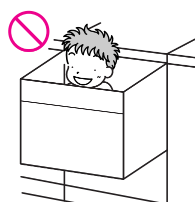
感電や故障の原因になります。





お子さまが中へ入らないように注意する

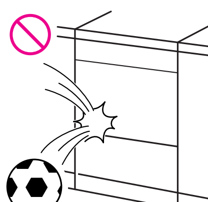
※中からドアは開きませんので、閉じこめられてしまいます。使用後は必ずドアを閉めてください。
思わぬ事故の原因になります。





運転中は本体に衝撃を与えない

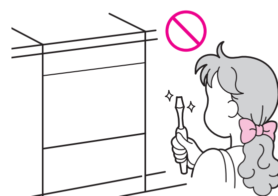
感電や漏電・ショートによる火災のおそれや機器損傷の原因になります。





絶対に分解したり修理・改造はしない

発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
※修理はお買い求めの販売店に相談してください。



⚠警 告


必ず守る

異常、故障時には、直ちに使用を中止する

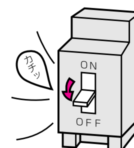
《異常・故障例》

・焦げくさいにおいがする　・電源を入れても運転しない　・運転中、異常な音がする
・ドアの開閉動作に異常がある　・本体が変形したり、異常に熱い

発煙、発火や、感電、漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

※すぐに使用を中止し、ブレーカー（機器用）を切り、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼してください。
（水漏れ不良の場合、ポンプを稼働し、強制的に排水しますので、ポンプの排水音がします。ブレーカー（機器用）を切る前に、必ず止水栓を閉めてください。）

※製造番号が必要な場合は、洗浄槽を引き出した底の銘板を確認してください。




必ず守る

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火し、火災に至ることがあります。


禁　止

電源コードを傷付けたり・無理に曲げたり・引っ張たり・ねじったり・たばねたり・高温部に近づけたり・重い物を載せたり・挟み込んだり・加工したりしない

電源コードが破損し火災・感電の原因になります。


必ず守る

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

火災の原因になります。


アースする

アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
アースの取り付けは販売店に相談してください。


必ず守る

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

電源は交流100V専用コンセントを使用する

火災・感電の原因になります。


禁　止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない

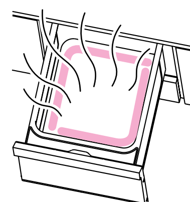
感電・ショート・発火の原因になります。


接触禁止

運転中または、運転終了後45分間は絶対に庫内やヒーターカバーにふれない

食器の取り出し、残さいフィルターの掃除・お手入れは、運転終了後45分以上経過してから行う

食器の取り出し、フィルターの掃除・お手入れは運転終了後45分以上経過してから行ってください。
やけどをするおそれがあります。



安全上のご注意

⚠注 意


注意喚起

機器を給湯器に接続して高温で使用する場合、他の水栓からも高温のお湯が出るため注意する
やけどをするおそれがあります。


必ず守る

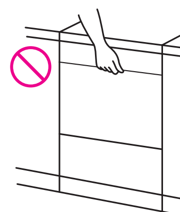
推奨専用洗剤以外は使用しない（P18『専用洗剤について』参照）
・台所用液体洗剤は使用しない。泡が大量発生して正しく作動せず、故障の原因になります。
・石けん成分入りの食器洗い乾燥機専用洗剤を使用しない。洗いあがりが悪くなる場合があります。


必ず守る

点検期間中に法定点検を受ける（P31『特定保守製品と点検』参照）
経年劣化による火災・けがのおそれがあります。
・使用の前に必ず所有者登録を行ってください。
点検期間になりましたら当社からご案内を送付します。


禁 止

運転中は、ドアを開けない
・高温の洗浄水や湯気で、やけどするおそれがあります。
・運転中に急にドアを開けると、洗浄水がフタから機器ケース内に滴下し、水漏れと判定する場合があります。
食器の追加など、やむをえずドアを開ける場合は、必ず【スタート／一時停止】スイッチを押してからドアを開けてください。




禁 止

引き出したドア側面に触れない
やけどをするおそれがあります。



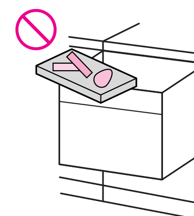

指に注意

ドアを閉めるとき指の挟み込みに注意する
けがをするおそれがあります。




禁 止

調理台や置き台として使用しない
やけど・けがをするおそれがあります。




必ず守る

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火し、火災に至ることがあります。


禁 止

開いたドアに強い力をかけたり、ぶらさがったりしない
破損や変形の原因になります。

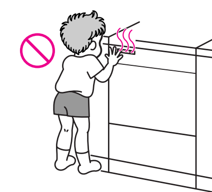

禁 止

バケツや洗いおけなどで水を入れない
水漏れの原因になります。



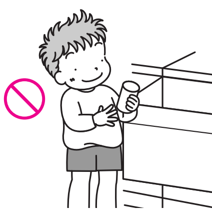

禁 止

排気口付近には近づかない
湯気・温風によりやけどをするおそれがあります。




禁 止

子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない
やけど・けがをするおそれがあります。




禁 止

機器下の引き出しを開けたまま、食器洗い乾燥機のドアを開けない
破損や変形の原因になります。


禁 止

テレビ・ラジオなどの家電製品の近くで使用しない
映像の乱れや雑音の原因になります。


禁 止

食器洗浄・乾燥以外の用途には使用しない
やけど・けがをするおそれがあります。

お願い

■寒冷地の別荘などで、冬季に使用しないお客様へ

万一凍結してそのまま放置されると、給水弁や配管などの破損の原因になります。水抜き作業が必要なため、お買い求めの販売店または、お近くの水道施工業者に相談してください。

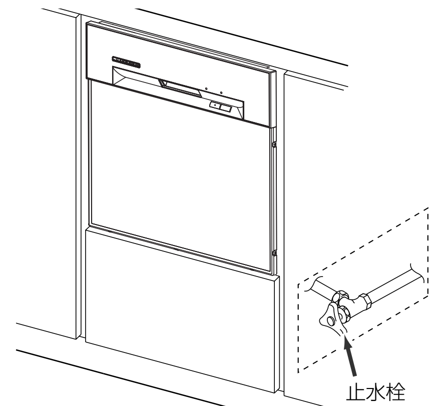
※凍結のおそれのある場所（室温0℃以下）へは設置しないでください。

■購入後、しばらくは使用中に機器（ゴムや樹脂）のにおいがする場合があります。

■井戸水などは、不純物などが多く含まれる場合があり、故障の原因になる場合があります。

■止水栓の場所

・止水栓は、通常機器を設置しているキャビネットの底にあります。
・止水栓の場所がわからない場合は、販売店もしくは施工店に連絡してください。（止水栓についてP22参照）



例）止水栓位置

■点検お知らせ機能

・長期間使用され、使用期間が10年を越えると、電源スイッチを「入」にするたびに、約7秒間すべてのランプが点滅します。（異常報知についてP22参照）
株式会社ハーマン点検受付センター（TEL. 0120-780-137）に連絡してください。
点検の案内をさせていただきます。（詳細はP31～33『特定保守製品と点検』参照）
・点滅後は通常の運転手順で使用できます。

1 各部のなまえとはたらき

庫　内

排 気 口

取 っ 手

※取っ手は内側にあります。

ド　ア

電源スイッチ

・機器を運転させるときに押します。
・運転が終了すると、自動的に電源を『切』にします。
・スタートせずに放置していると、約10分後に電源を『切』にします。

電 源

ピッ

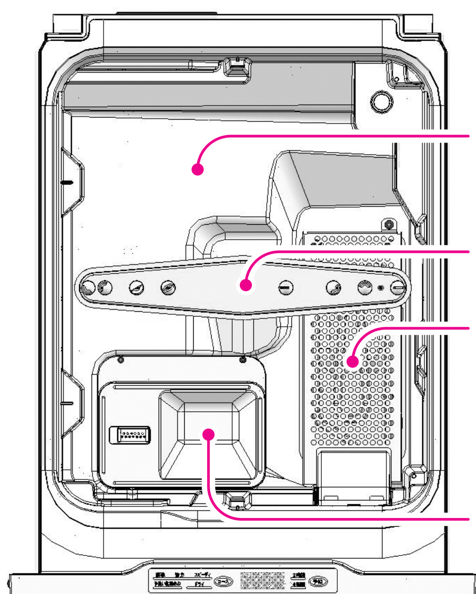
スタート／一時停止スイッチ

・運転スタートおよび、一時停止させるときに押します。
・一時停止させた後、再びスタートさせるときは、再度押します。

スタート一時停止

ピッ

庫　内



洗浄槽

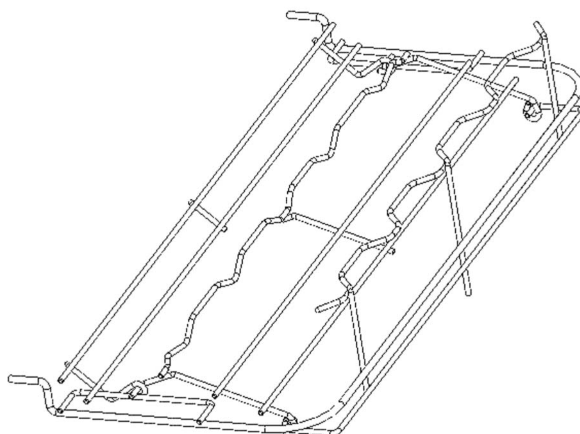
ノズル

ヒーターカバー

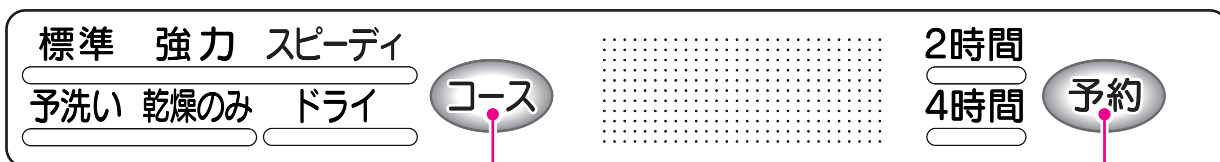
・下にヒーターがあり、運転中は高温になります。

残さいフィルター

上 か ご



操作パネル



コーススイッチ


8ページ参照

・洗浄コースの設定をするとき

予約スイッチ


7ページ参照

・2時間後、または4時間後の運転開始を予約するとき

※各スイッチは、押すごとにランプ表示が切り替わります。

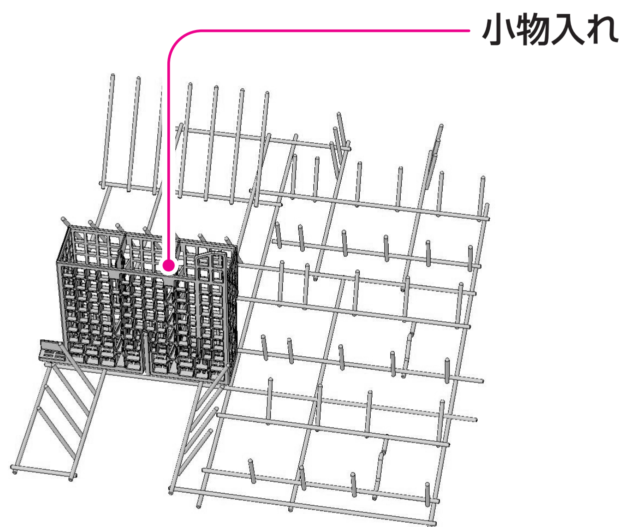
運転ランプ・予約ランプ

・電源スイッチを押すと運転ランプが点灯し、運転中は運転ランプが点滅します。
・予約の設定をすると予約ランプが点灯し、予約を開始すると予約ランプが点滅します。
※一時停止中はランプが点灯に変わります。

例）運転中の場合

○ 予約　　

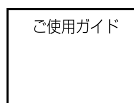
下かご



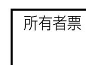
付属品

○取扱説明書
（保証書付）
○ご使用ガイド
○所有者票
○工事説明書

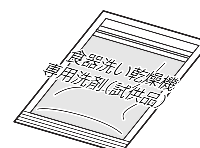






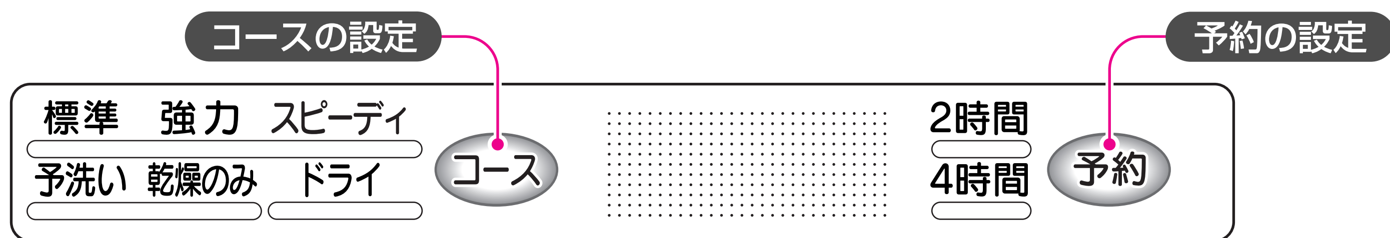


○専用洗剤（試供品）



使いかた

2 予約・コースの設定



予約の設定

・4時間または2時間後に、選んだコースの運転を開始します。
・予約で設定できるコースは、「標準」「強力」の2コースです。
・【予約】スイッチを押すごとにランプ表示が変わり、予約設定ができます。



※「予約なし」表示は、予約の設定ランプが全て消灯します。

〈予約の設定方法〉

◇**食器をセットする。(P11～16参照)**
あらかじめつけ置きしたものを入れてください。
(予約待機中に残さいがこびり付き、取れにくくなります。)
◇**専用洗剤を入れる。(P18参照)**

1. **機器本体の【電源】スイッチを押す。**
2. **ドアを引き出し、【予約】スイッチを押して、予約時間を設定する。**
3. **【コース】スイッチを押して、コースを選択する。(P8参照)**
4. **ドアを確実に閉める。**
5. **機器本体の【スタート／一時停止】スイッチを押して、設定を完了する。(予約待機中)**
   予約ランプが、点灯から点滅に変わります。
   設定時間になると、予約ランプが消灯して運転ランプが点滅し、自動的に洗浄運転を開始します。

〈予約の取り消し方法〉

1. **機器本体の【電源】スイッチを押す。**
   「予約」ランプが消灯します。

・割安な深夜電力(時間帯別電灯契約＊1が必要)を利用するときにおすすめします。
・深夜に予約運転をセットしておけば、朝には食器がきれいに洗い上がります。
※予約運転終了後、給湯を利用するときは、給湯器の温度設定を通常利用される温度に戻してください。
(給水接続は除く。)

＊1「時間帯別電灯契約」とは、電気の使用量を昼間と夜間に分けて計量し、従来の契約にくらべ電気代が昼間はやや割高ですが、夜間は安くなる制度です。

コースの設定

・【コース】スイッチを押すごとにランプ表示が変わり、洗浄コースの設定ができます。

コース	汚れぐあい
標　準 ▼ 標準+ドライ	**ふつうの汚れ** ・食後、すぐに洗うとき
強　力 ▼ 強力+ドライ	**がんこな汚れ** ・こびり付きなど、がんこな汚れのとき ・中華料理など油分の多い汚れのとき ・食後、数時間してから洗うとき
スピーディ ▼ スピーディ+ドライ	**つけおき・軽い汚れ** ・つけおき、または軽くすすいだ食器を洗うとき ・パンなど、軽い汚れを洗うとき
予洗い	**おおまかな汚れを落としておく** ・後でまとめて洗うときに、前もっておおまかな汚れを落としておきたいとき
乾燥のみ ▼ 乾燥のみ+ドライ	**あらかじめ洗ってある食器** ・あらかじめ手洗いした食器などを乾燥させるとき ※『乾燥のみ』コースをよく使用する場合、週に1回程度、予洗い運転を行ってください。（乾いた水滴がにおいの原因などになるおそれがあります。）

『ドライ』運転とは？

・食器の乾きをカラッとさせたいとき
・運転終了後の食器の温度を低くしたいとき
・庫内のにおいを減らしたいとき



『ドライ』運転を使用してください。

【標準】【強力】【スピーディ】【乾燥のみ】の運転終了後、約2時間送風・休止を繰り返す間欠送風を行います。
・ヒーターによる加熱は行いません。
・ドライ行程中にドアを開けると、『ドライ』運転は終了します。
・『ドライ』運転終了後は、終了ブザーは鳴らずに自動的に電源が『切』になります。

使いかた

2 各コース別の所要時間のめやす

・**給湯・給水接続について**
◎本機は、給湯でも給水でもご使用できます。
◎給湯を使用すると所要時間が短くなります。
　給湯接続の場合、給湯器の設定温度は60℃をおすすめします。
　※60℃以下（40℃など）でも使用できますが、所要時間が長くなります。
◎給湯・給水接続がご不明な場合は、販売店もしくは施工店へご確認ください。

◎給湯接続の場合（電源電圧100V、水圧0.3MPa（3kgf/㎠）給湯60℃室温20℃のめやすです。）

洗浄コース	所要時間	スチーム	洗い	水すすぎ	加熱すすぎ	乾燥
標準	約73分		約19分	約7分	約12分（約70℃）	約35分
強力	約109分	約10分	約41分	約11分	約12分（約70℃）	約35分
スピーディ	約21分		約9分	約7分	約5分（約55℃）	
乾燥のみ	約60分					約60分
予洗い	約5分		約5分			

◎給水接続の場合（電源電圧100V、水圧0.3MPa（3kgf/㎠）給湯20℃室温20℃のめやすです。）

洗浄コース	所要時間	スチーム	洗い	水すすぎ	加熱すすぎ	乾燥
標準	約90分		約23分	約7分	約25分（約70℃）	約35分
強力	約122分	約10分	約41分	約11分	約25分（約70℃）	約35分
スピーディ	約40分		約16分	約7分	約17分（約55℃）	
乾燥のみ	約60分					約60分
予洗い	約5分		約5分			

※スチーム行程中は、ポンプは作動しません。

・**所要時間について**
・所要時間は、電源電圧・水圧・給湯温度・季節（室温や水温）・給湯配管長さによって変化します。
　※季節が冬の場合（室温10℃・水温10℃）など室温や水温が低い場合は、所要時間が上表の所要時間に比べ、約10～15分長くなります。
・『ドライ』運転が設定されている場合は、上表の所要時間に送風が約2時間追加されます。

使いかた

2 食器を入れる前の確認

庫内に入れてはいけないもの



⚠注意

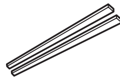


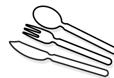
洗浄水の噴射で飛ばされやすい軽いものは入れない。



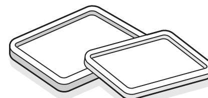
食器や調理器具以外のものは入れない。

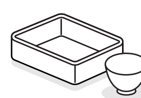
ヒーターカバーの上に落ちると、発火・発煙・焦げ・溶け・においの原因になります。

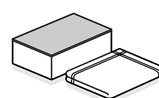
わりばし


プラスチックの スプーン、フォーク


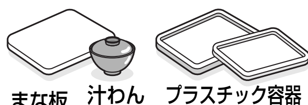
哺乳瓶の乳首


プラスチック容器


発泡スチロールの容器


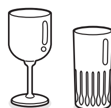
ふきん、スポンジ


耐熱90℃以下のプラスチックのもの（耐熱表示のないもの）



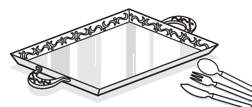
変形します。

クリスタルグラス、強化ガラス、傷ついたガラス製カット食器



白く濁ったり割れたりします。

銀製・洋銀製食器など



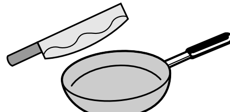
金色に変わり、その後黒くなります。

アルミ製、銅製の鍋や食器



変色します。
（アルミ製は白くなり、
その後、灰色に変色します。）

鉄製の包丁、フライパン



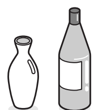
錆びることがあります。

フッ素樹脂加工を施したフライパンなどで、表面に傷やはがれがあるもの



コーティングがはがれることがあります。

びん、徳利などの食器



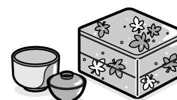
口の小さいものは中が洗えません。

ひびの入った食器、
貫入食器（ひび割れ模様の食器）



変色したり、ひびが入った食器は割れるおそれがあります。

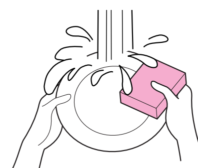
漆塗り食器、重箱、金箔入の食器、木製のわん



はがれたり、表面にひびが入り、割れるおそれがあります。

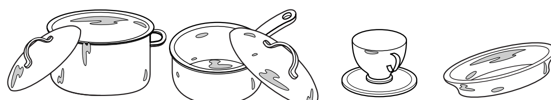


落ちない汚れは･･･



・手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。
あらかじめ、手洗いでこすり落としてから入れるか、手洗いにしてください。

(例)・グラタンなどの焼きつき
・茶碗蒸しのこびりつき
・鍋の焼けこげ



※食器のセットの仕方・こびりつき具合・口紅の種類により、落ちにくい汚れがあります。

使いかた

2 食器の入れかた

〈標準食器量（5人分）〉

大皿 ······5点　小皿···············5点
茶わん ····5点　汁わん·············5点
中鉢 ······5点　湯のみ・コップ ···10点

計　35点

他に
スプーン･フォーク･はし・包丁など

※標準食器とは、（社）日本電機工業会・自主基準「電気食器洗い機用食器に関する自主基準」（2009年9月17日改正）に基づいた食器のことです。

⚠注意



庫内に入れてはいけない食器があるので注意する。
（P10参照）



食器は食器かごに無理やり入れない。
食器かごのコーティングがはがれたり、かごが変形するおそれがあります。

⚠警告



食器の出し入れは、運転終了後45分経過してから行う。
やけどをするおそれがあります。



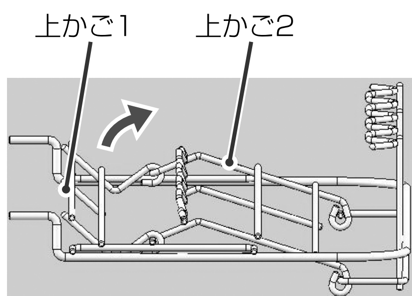
確認！

- 上かごが洗浄槽にのっていることを確認してください。
- 食器の向きが違うと、洗い上がりが悪くなります。
- 食器の種類によっては、上かごを取り外して食器を入れてください。

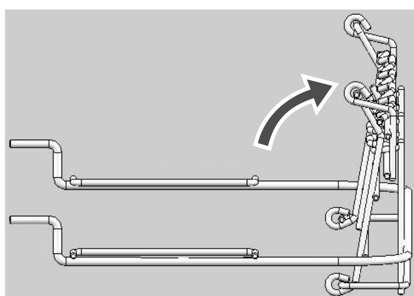
下かごに入れる場合

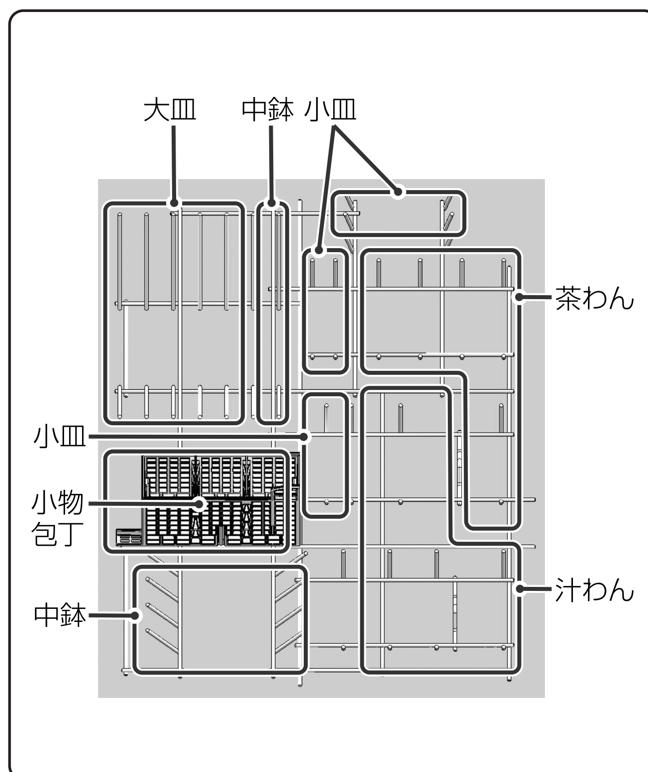
・上かご1を倒してから、上かご2を上げてください。

上かご1　上かご2





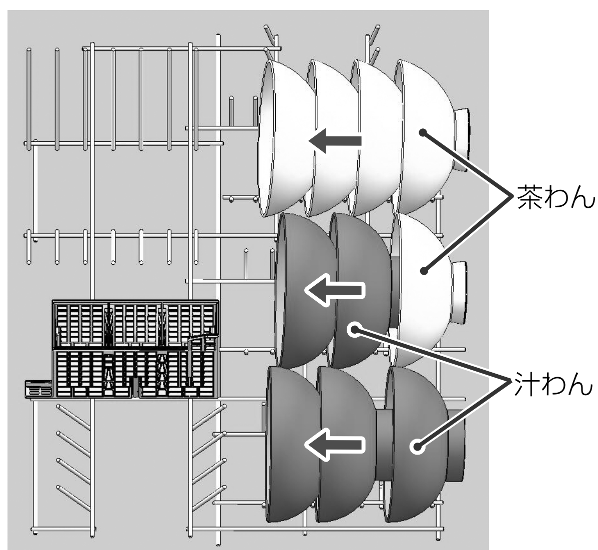




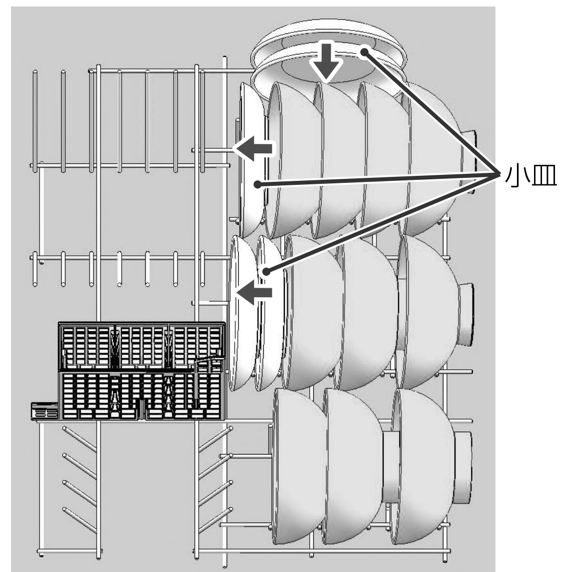
下かごに入れる

・食器の汚れた面を下図のように矢印方向に向けて入れてください。

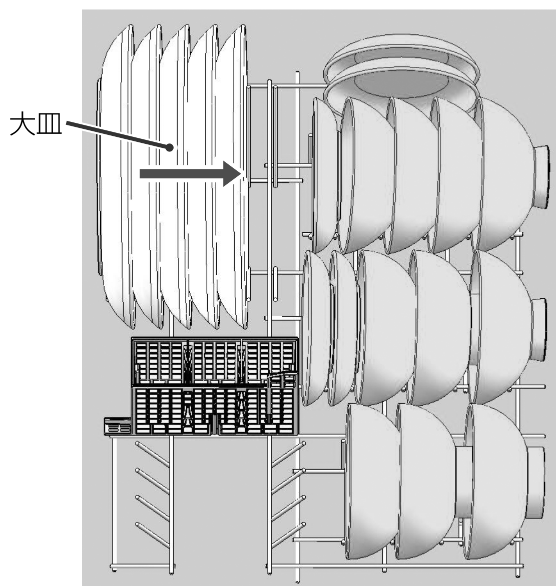
1．汁わん・茶わんを入れる（直径12cm以下）



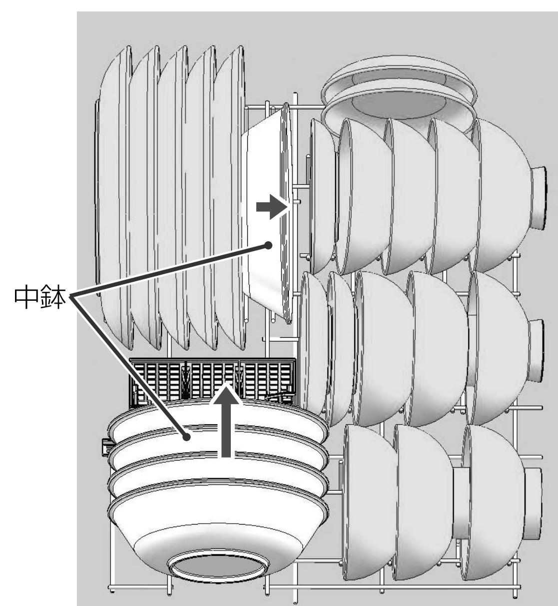
2．小皿を入れる（直径12cm以下）



3．大皿を入れる（直径26cm以下）

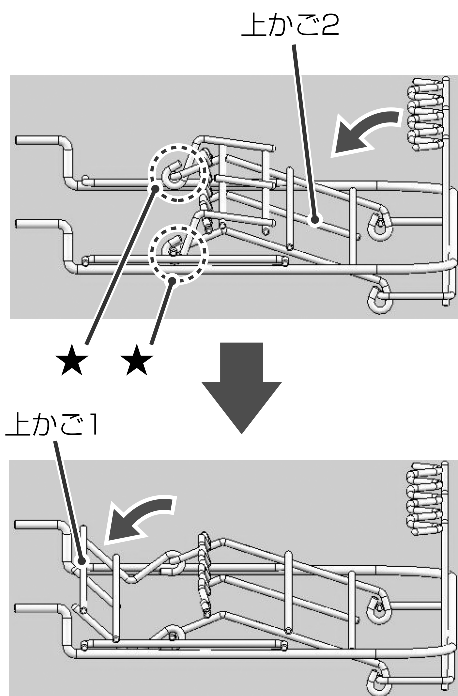


4．中鉢を入れる（直径17cm以下）



上かごに入れる場合

・上かご1・上かご2に入れる（上かご2を倒してから、上かご1を起こしてください。）

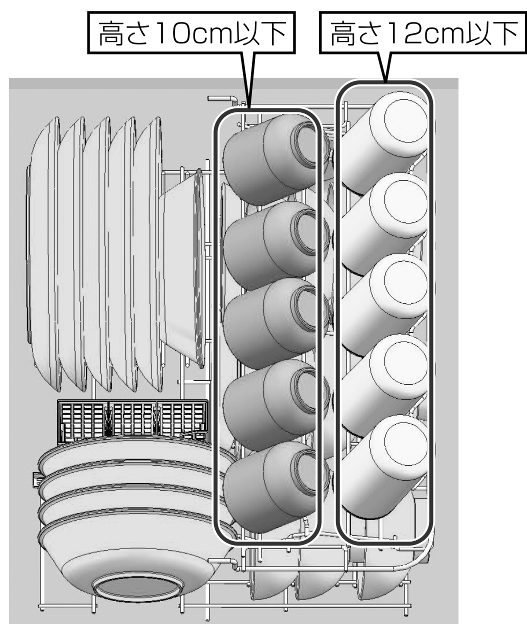




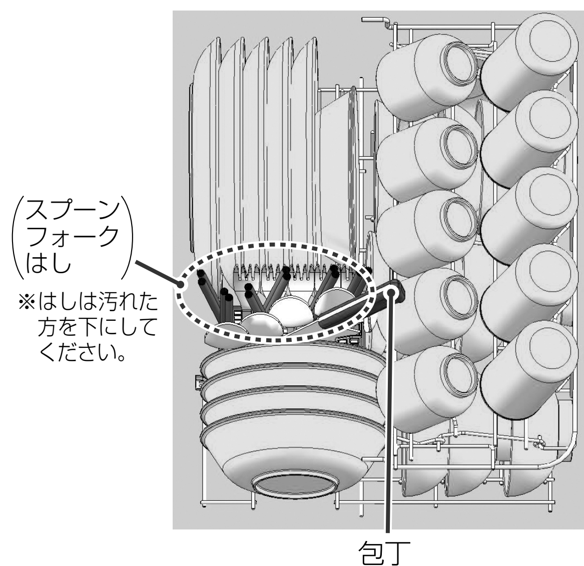
確認！

★部に上かご2がのっていることを確認してください。
下かごに直径12cm以下の食器を入れてください。
食器が欠けたりするおそれがあります。

5. コップ・湯のみを入れる



6. 小物を入れる（長さ24cm以下）
（包丁を手前に入れる 15ページ参照）



使いかた

2 いろいろな食器の入れかた

どんぶりの場合

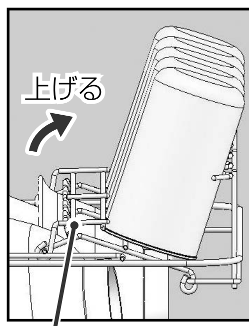
ふちが広がっているどんぶりの場合

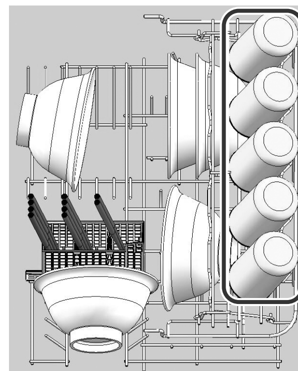


※設置できるどんぶりの外径：16cm

・どんぶりの配置を変え、上かご1を上げることで、コップもセットできます。

（どんぶり･･･5点
コップ・はしなど）

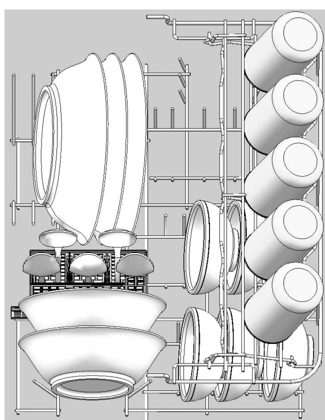




その他の食器の場合

カレー皿

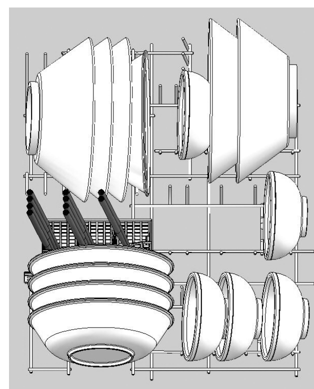
（カレー皿･････5点
小鉢･････････5点
スプーン・はしなど）



ラーメン鉢

（ラーメン鉢･･･5点
小鉢･････････5点
中鉢･････････5点
はしなど）

※上かご1、上かご2を上げてください。
※上かごに接触する場合は、上かごを洗浄槽から取り外してください。

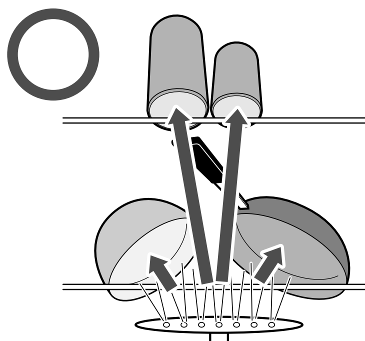


いろいろな食器の入れかた

調理器具の場合

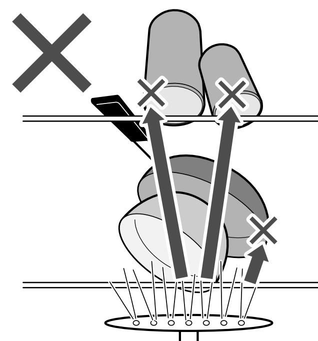
・正しい入れかた

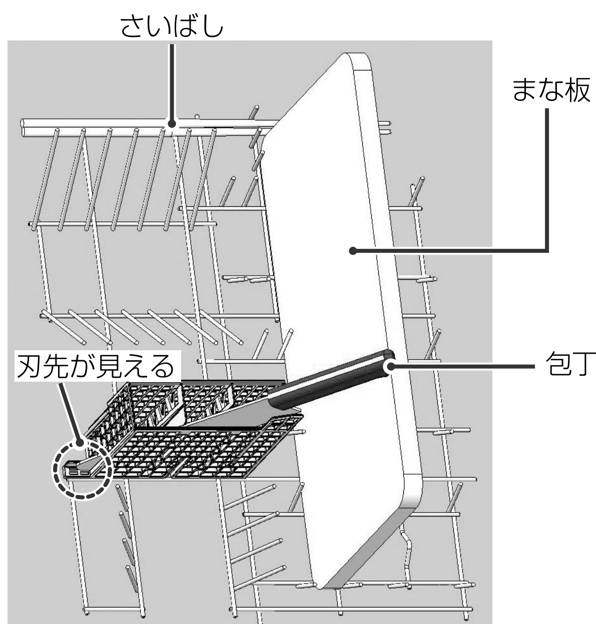
・汚れている面を内側にして入れる。
・ノズルからの噴射水が上かごの食器に当たるように、ボールなどを斜めに傾けて入れてください。



・悪い入れかた

・上かごの下に大きい調理器具を入れない。
・調理器具を重ねない。





まな板 (縦21cm以下、横37cm以下、厚さ1.5cm以下)

・汚れている面を内側にして入れてください。
・小物入れの右側に入れてください。

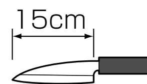
※木製のまな板は割れ目が入ったり、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合があるため、耐熱温度80℃以上のプラスチック製のものをおすすめします。

さいばし (長さ29cm以下)

・奥の小皿部に入れてください。
※24cm以下の場合、小物入れに入れてください。

包　丁 (長さ30cm以下)

・刃を下に向けて小物入れの手前に入れてください。
※刃の部分が15cm以下の包丁は入れないでください。
包丁入れから落下するおそれがあります。



⚠注意



鉄製の包丁や、刃先が鋼のものは、さびの原因になるため入れない。

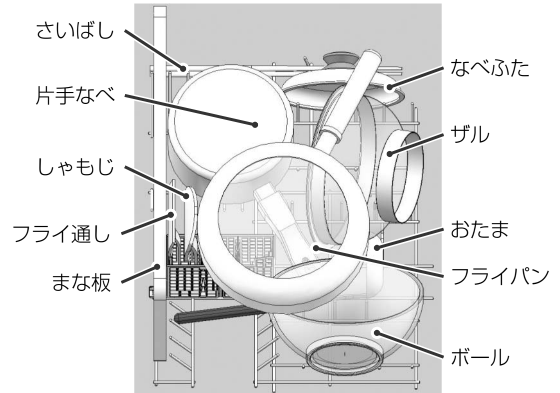
ポイント

・包丁は左図のように正しくセットし、固定されている事を確認する。
※立てた状態でセットするとドアが引き出せなくなる原因になります。

調理器具

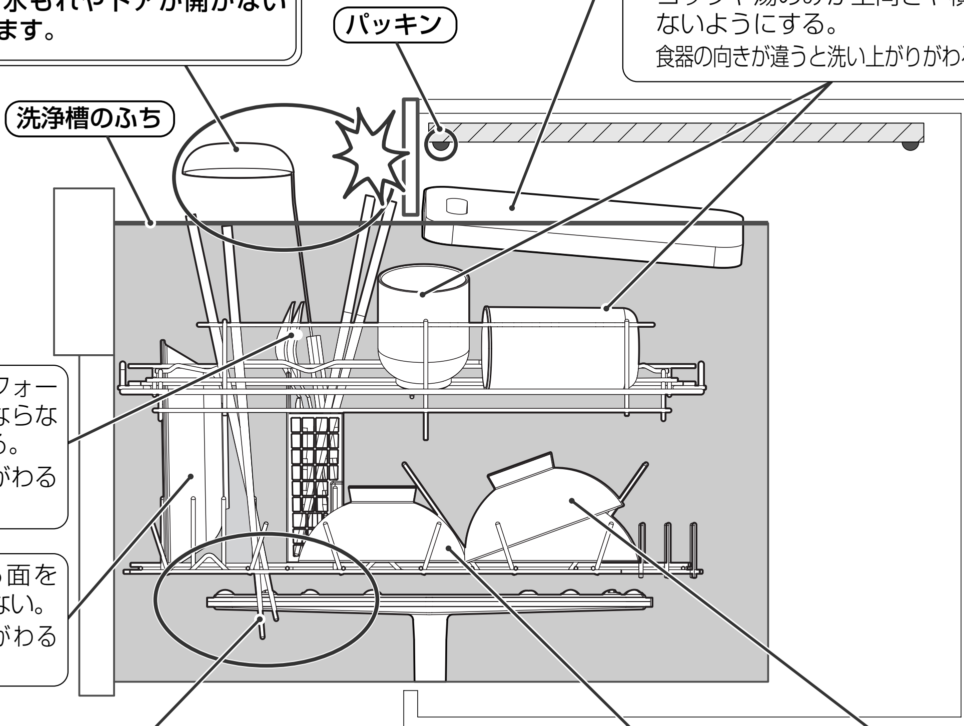
※調理器具の大きさはめやすです。
（ここに記載している調理器具でも、食器の大きさ、入れかたにより、入らないことがあります。）

例）・フライパン･･･直径26cm以下
・片手なべ･････直径15cm、深さ8cm
・なべふた、ボール、ザル、さいばし、しゃもじ、フライ通し･･･24cm以下
（小物入れに入れる。）



食器セットの悪い例

食器セットのしかたが悪かった場合、ドアが引き出せなくなったり、水漏れ・本体・食器の破損の原因になります。
※引き出せなくなったときは、むりやり引き出さずに、販売店に連絡してください。

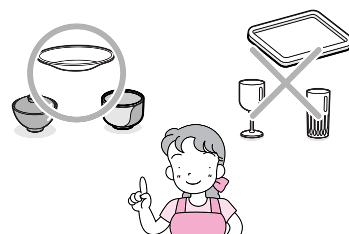


使いかた
2 運転の手順

運転する前に

1. 洗える食器や調理器具かを確認する。

10ページ参照

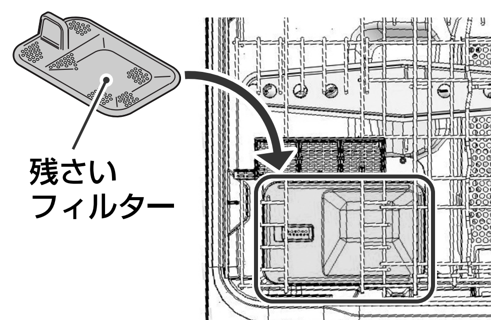


2. 残さいフィルターがセットされているか、また傾いてすき間がないか確認する。

・残さいフィルターを取り付けずに運転すると故障の原因になります。



確認！



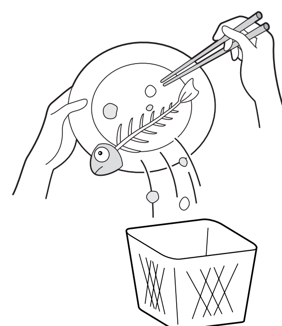
3. 食器の残さいを取り除く。

お願い

・下記の残さいが残らないようにあらかじめ取り除いてください。残さいが残ると、汚れやにおいの原因になります。

- **・再付着の原因**：七味、ゴマ、ふりかけなど細かいもの
油の固まりや玉子の固まりなどのひどい汚れ
- **・ポンプ故障の原因**：つまようじ、魚の骨、輪ゴム、ラップ

※残さいが多かったり、汚れがひどい場合は、あらかじめつけおきや、水洗いをしてください。

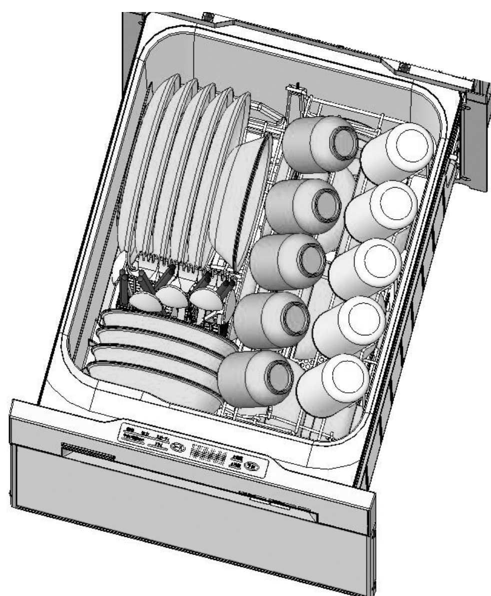


4. ドアを引き出し、食器を入れる。

11～16ページ参照

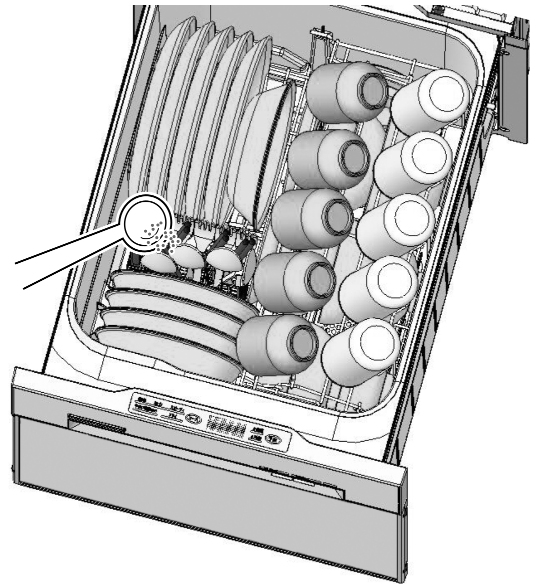
・食器は汚れた方を内側にして、食器どうし重ならないように1点ずつ入れてください。

・ドアを開くとき、『ピッピッ』と音が鳴ります。



5. 専用洗剤を小物入れ付近に入れる。

・洗剤の量は約4.5g
・油汚れが多い場合は多めに入れる。（約7g）



専用洗剤について


必ず守る

・必ず石けん成分を含まない食器洗い乾燥機専用洗剤を使用してください。
・台所用液体洗剤・重曹は少量でも使わないでください。

推奨専用洗剤

・フィニッシュ
・ジョイ

※一般の台所用液体洗剤では、泡の異常発生で正しく作動せず、故障の原因になります。
（台所用液体洗剤を食器を入れる前に使用した場合は、十分に食器をすすいでから入れてください。）
※重曹を使うと、重曹が固まり故障の原因になります。
※食器洗い乾燥機専用洗剤でも、石けん成分が含まれている洗剤では、庫内に石けん成分などが残ったり、洗い上がりが悪くなる恐れがあります。
※タブレットの専用洗剤を使用する場合は、1個入れてください。

専用洗剤の購入について

・付属の専用洗剤がなくなりましたら、お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットなどで購入してください。

⚠注意

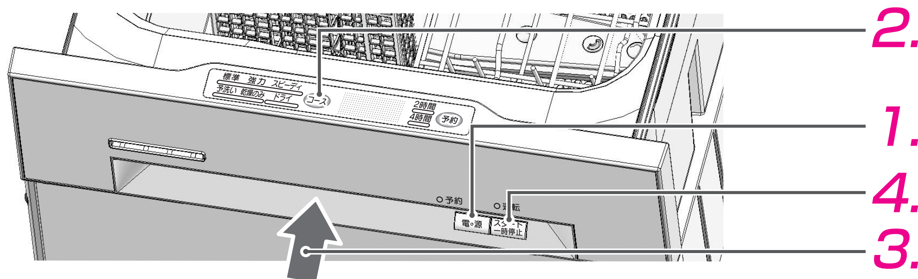

必ず守る

給湯接続の場合は、給湯器の電源を『入』にし、温度を60℃以下にする。
・給湯・給水接続について（9ページ参照）
（給水接続の場合は、設定する必要がありません。）

※本機と給湯栓を同時に使用する場合、他の水栓からのお湯の温度に注意する。
やけどをするおそれがあります。
※70℃以上で使用しない。
洗い上がりが悪くなったり、水漏れや故障の原因になるおそれがあります。

運転の手順

運転をはじめる



1.【電源】スイッチを押す。

2. ドアを引き出して、洗浄コースを設定する。

予約・コースの設定（7～8ページ参照）

・コースを変えない場合は必要ありません。
前回運転したコースで運転します。（＊1）

＊1
■運転コースの記憶について
・電源を『入』にすると自動的に前回運転したコースに設定されます。
※いつも同じコースを使う場合はコースを選ぶ必要はありません。

3. ドアを確実に閉める。

・ドアを閉じると、『ピッ』と音が鳴ります。
※ドアが閉まっていないと『ピッピッピ』と音が鳴り【スタート／一時停止】のスイッチは受け付けません。

⚠注意



ドアを強く閉めない。
また、強く引きださない。
食器どうしがぶつかり、割れるおそれがあります。

4.【スタート／一時停止】スイッチを押して運転をはじめる。

・運転を開始したあとで（運転開始後3分以内に行ってください。）

こんなとき	操作のしかた
・スタート直後に食器を追加するとき。 運転開始後、時間が経過して行うと、追加した食器がきれいに仕上がらないことがあります。	【スタート／一時停止】スイッチを押し、ドアを引き出して、食器を入れてください。 ドアを閉めると、自動的に運転を再開します。 ※運転中にドアを引き出した場合、ドアを閉めるまで『ピッピッ』と1分毎に音が鳴ります。

⚠注意



運転中に急にドアを開けない。
・高温の洗浄水や湯気で、やけどするおそれがあります。
・洗浄水がフタから機器ケース内に滴下し、水漏れと判定する場合があります。

運転終了

1. 終了ブザーが鳴って運転終了。

※出荷時は終了ブザーが鳴る設定になっています。
※予約運転後、およびドライ終了後はブザーは鳴りません。
※深夜の運転などで報知が必要のない場合は、終了ブザーを消すことができます。
・終了ブザーの解除・設定方法
「ユーザー設定について」を参照（30ページ参照）

⚠注意


必ず守る

給湯接続の場合は、給湯機の温度設定を通常利用する温度に戻す。

2. 『ドライ』運転が始まります。（『ドライ』設定時）

・運転終了後約2時間『ドライ』運転します。
※途中でドアを引き出すと『ドライ』運転は終了します。（8ページ参照）
※ドライ運転中は、運転ランプがゆっくり点滅します。（約5秒ごとに点滅）

3. 食器を取り出す。

・必ず1点ずつ取り出してください。
※まとめて取り出すと食器どうしが当たって、割れたり、欠けたりするおそれがあります。

⚠警告


接触禁止

運転終了後すぐにドアを開けない。
庫内が非常に熱くなっており、やけどのおそれがあります。
運転終了後45分以上おいて、庫内が冷えてからドアをあけてください。

運転の手順

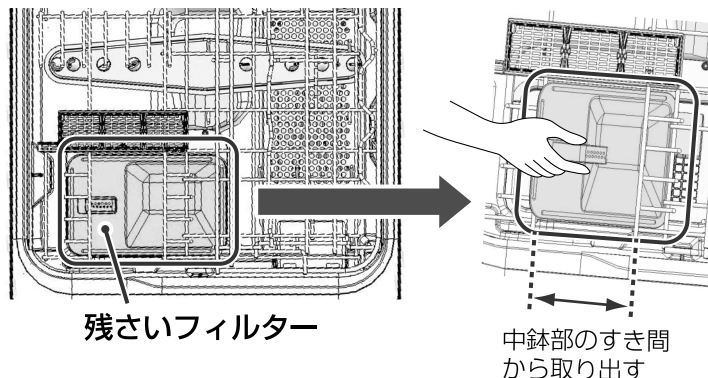
後始末をする

毎回行ってください。

1. 残さいフィルターを取り出す。

・中鉢部のすき間から取り出してください。

※残さいフィルターを取り出したとき、底部に残水がある場合がありますが、排水側からのにおいや、虫などの侵入をふせぐためなので問題ありません。



⚠警告



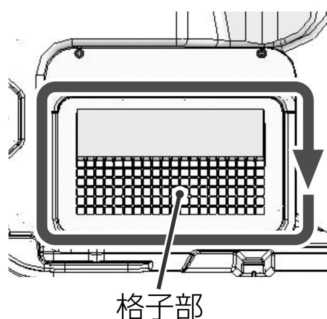
残さいフィルターの掃除、お手入れは運転終了後45分以上おいて、庫内が冷えてから行う。
ヒーターカバーに触れると、やけどをするおそれがあります。

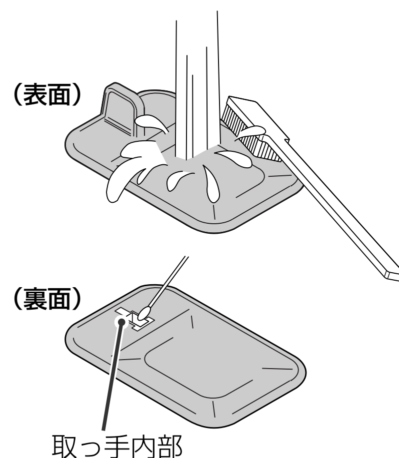
2. 残さいを捨て、残さいフィルターを洗う。

・汚れが落ちない場合は、歯ブラシなどで洗ってください。
※残さいフィルターを外したところの周囲や残さいフィルター取っ手の内部もときどき拭き取ってください。

お願い

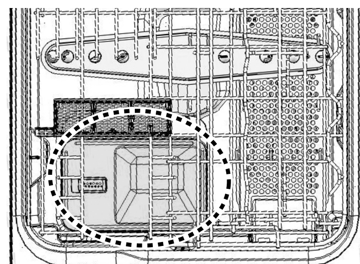
・格子部に引っかかった汚れや残さいフィルター周辺の汚れも拭き取ってください。洗い上がりが悪くなる原因になります。





3. 残さいフィルターを必ず元通りセットする。

・傾いてすき間ができていないか確認してください。



お願い

・2日以上使用しない場合は、必ず食器を取り出してください。また残さいは必ず捨て、残さいフィルターを洗ってください。においやカビの原因になります。

3 異常報知について

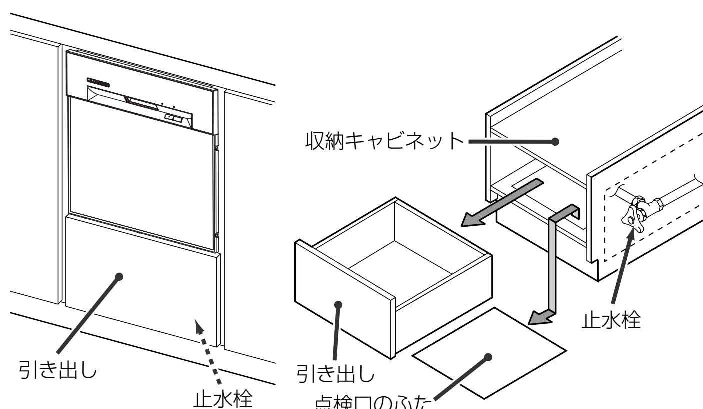
◎ブザー音やランプ表示で機器異常を知らせたときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

操作部・運転・予約ランプの表示	内　　容	処　　置
標準・強力・スピーディランプが**点滅** 標準　強力　スピーディ 予洗い　乾燥のみ　ドライ	**水漏れ不良** 機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。 運転中に［スタート／一時停止］スイッチを押さずに、急なドアの開閉を繰り返すと、洗浄水がフタから滴下し、水漏れと判定する場合があります。	・機器の止水栓もしくは水道の元栓を閉めてください。水漏れの可能性がありますので、至急、お買い求めの販売店に連絡してください。 ※**ポンプを稼動し強制的に排水しますのでブレーカー（機器用）を切らないでください。** 止水栓を閉める前にブレーカー（機器用）を切ると機器外（機器周辺）に水が漏れる場合があります。
標準・強力・スピーディ・予約2時間ランプが**点滅** 標準　強力　スピーディ　2時間 予洗い　乾燥のみ　ドライ　4時間	**給水不良** 断水や給水管が詰まっているか、水道管の凍結あるいは止水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。	・断水の場合は、断水が回復してから運転してください。 凍結の場合は28ページを参照してください。 ・初めて使用される場合は、止水栓の開け忘れの可能性が高いので、お買い求めの販売店に連絡してください。
標準・強力・スピーディ・予約4時間ランプが**点滅** 標準　強力　スピーディ　2時間 予洗い　乾燥のみ　ドライ　4時間	**排水不良** 排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。	・残さいフィルターが、詰まっていないか確認してください。 ・初めて使用される場合は、排水ホースの接続方法に不具合がある可能性が高いので、お買い求めの販売店に連絡してください。
すべてのランプが7秒間**点滅** 予約　運転 標準　強力　スピーディ　2時間 予洗い　乾燥のみ　ドライ　4時間	**点検のお知らせ** 使用期間が10年を超えると電源スイッチを「入」にするたびに点検期間であることを示しています。	・使用期間が10年を越えました。 株式会社ハーマン点検受付センター（0120-780-137）に連絡してください。 点検の案内をさせていただきます。 詳細は31～33ページの『特定保守製品と点検』を参照してください。 ・点滅後は通常の運転手順で使用できます。

上記処置をしても運転をしない場合や、上記以外の異常報知のランプ表示があった場合は、お買い求めの販売店または、弊社に連絡してください。
このとき、ランプ表示の状態についてもお知らせください。

参考（止水栓について）

・通常、止水栓は機器を設置しているキャビネット内にあります。
下図のように点検口のふたがないなど、止水栓の場所がわからない場合は販売店に連絡してください。



お手入れのしかた

◎お手入れは、

『運転終了後45分以上経過してから行う』
『台所用洗剤・研磨剤入り洗剤は使用しない』
『金属タワシやナイロンタワシなど、硬いお手入れ道具を使用しない』

月に一度はお手入れをしてください。

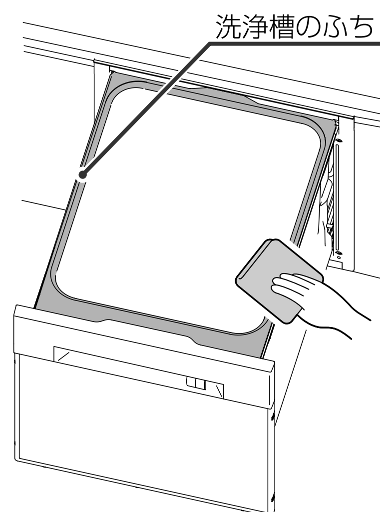
⚠警告


必ず守る

お手入れは運転終了後45分以上おいて、庫内が冷えてから行う。
ヒーターカバーなどに触れるとやけどのおそれがあります。

庫内を清潔に保つために

・よく絞った柔らかい布で拭いてください。
・洗浄槽のふちは、食べものカスなどの汚れや白い成分が付きやすいので、よく拭き取ってください。
※水漏れの原因になります。
・庫内に白い成分が残っている場合、歯ブラシなどで取り除いてください。
・庫内の底やヒーターカバー、かご、小物入れなどに、食べものカスなどが残っている場合は、かごを取り出して拭き取ってください。
※ヒーターカバーに汚れが付着していると乾燥時に、においの原因になります。
※ヒーターカバーは取り外さないでください。
・月に一度は食器を入れずに専用洗剤を入れて、「標準」コースで運転してください。
※乾燥行程がない「スピーディ」「予洗い」コースだけをよく使用する場合、においの原因になります。



⚠注意


禁 止

ドアを開けて、水やお湯を入れない。
水漏れ、異常報知の原因になります。



【庫内の汚れやにおいが気になる場合】
・食器を入れずに洗剤または、レモン汁・お酢少量を入れて「予洗い」コースで運転する。
・汚れがひどい場合は、市販の「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を、使用方法を守って使用してください。

【庫内が白くなった場合】
・クエン酸や市販されているクエン酸入りの「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用してください。
※庫内に白い成分が蓄積すると、故障の原因になります。
・「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」の使用方法を守って使用してください。
※誤った使用方法で使用した場合、クリーナーの効果が得られないことがあります。

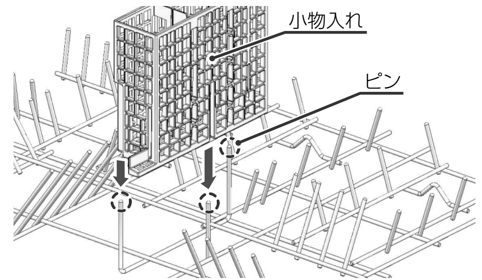
【クエン酸または庫内クリーナーの使用方法(例)】
（1）ドアを開けて食器を取り出し、残さいフィルターを掃除して、正しく取り付ける。
（2）クエン酸または庫内クリーナーを庫内に入れ、ドアを閉める。
（3）[標準] コースで、終了するまで運転する。

かごの取り出しかた・取り付けかた

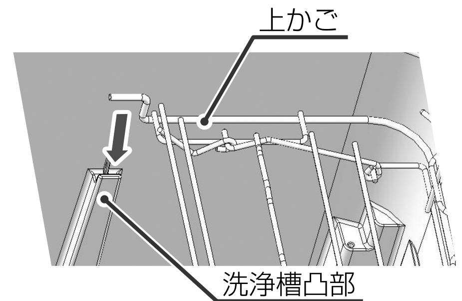
【かごの取り出しかた】
・ドアを最後まで引き出して食器類をすべて出してから、上かごと下かごを取り出してください。

【かごの取り付けかた】

・下かごの大皿の位置が奥側になるように取り付けてください。
・小物入れは、下かごの3カ所のピンに確実に設置してください。



・上かごを洗浄槽凸部（前後2カ所）に引っ掛けて設置してください。



ノズルの掃除

・ノズルを取り外し、水につけてゆすって、ノズル内に水が通るように水洗いしてください。

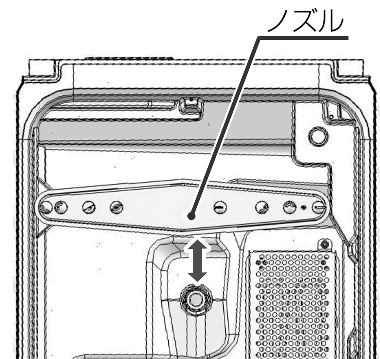
【ノズルの取り外しかた】

・ノズル中央部を持って、真上に引き抜いてください。

【ノズルの取り付けかた】

・洗浄槽中央の突起部に『カチッ』と音がするまで、しっかり押し込んでください。

※取り付け後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。
　正しく取り付けないと食器が洗えません。



ドアや操作パネル部の掃除

・ドアや操作パネル部の汚れは、よく絞った柔らかい布で拭き取ってください。
・掃除をするときは、水をかけないでください。
・ベンジン・シンナー・クレンザー・ワックス・弱アルカリ性洗剤・アルカリ性洗剤などで拭いたり、たわしでこすらないでください。
・化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

2日以上機器を使用しない場合

・必ず食器を取り出してください。
　また、残さいは必ず捨て、残さいフィルターを洗ってください。

※においやカビの原因になります。

・長期間使用しなかった場合は、使用前に食器を入れないで「標準」コースで運転してください。

消耗品について

・食器かご・パッキンは、消耗品です。

※食器かごのコーティングがはがれたり、サビがついた場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

※パッキンは使用環境（汚れなど）により通常より劣化が早くなる場合があります。

故障かな？と思ったら

洗い上がりについて

状　況	原　因	対処方法
○洗い上がりがわるい。 ○洗えていない食器がある。	○食器を重ねて入れたり、食器の向きが間違っている。 ○かごに入れた食器が、かごの下にはみ出てノズルの回転を止めている。	○食器などを正しく入れる。 （☞食器の入れかた　P11～16参照）
	○焦げつきやこびりついた汚れが食器についたまま入れている。	○こすり落としてから入れるか手洗いする。 （☞ 落ちない汚れは･･･　P10参照）
	○残さいフィルターやノズルが目づまりしている。	○残さいフィルター、ノズルをお手入れする。 （☞ 後始末をする　P21参照） （☞ お手入れのしかた　P24参照）
	○井戸水などミネラル分の多い水を使用している。	○専用洗剤を多めに入れる。 ○専用クリーナーを使用する。 （☞ お手入れのしかた　P23参照）
	○コースの選択が適切ではない。	○食器の汚れに応じた正しいコースを選択する。 （☞ コースの設定　P8参照）
	○推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。 ○専用洗剤を入れ忘れている。	○粉末状（パウダー）の推奨専用洗剤を正しく入れる。 （☞ 専用洗剤について　P18参照）
○洗剤が溶け残る。	○専用洗剤が湿気たり、固まっている。 ○洗剤を入れすぎている。	○固まっている場合は、ほぐしてから入れてください。 ○推奨専用洗剤を正しく入れる。 （☞ 専用洗剤について　P18参照）
○ガラス製の食器などが白くくもる。	○表面に小さな傷やひびが入った食器類を高温の洗浄水で洗うと浸食が進み、まれに白くなることがある。	○表面に小さな傷やひびが入った食器は入れない。 （☞庫内に入れてはいけないもの　P10参照）
	○クリスタル製食器は白くくもることがある。	○クリスタル製食器は入れない。 （☞庫内に入れてはいけないもの　P10参照）
	○油分や玉子などが多く食器に残っている場合、白くくもることがある。	○専用洗剤を多めに入れる。 ○「強力」コースにて運転する。 ○すすぎ回数を増やす。 （☞ユーザー設定について　P30参照）
	○ミネラル分で白くくもることがある	○ときどきレモン汁や酢をつけて手洗いする。
○食器が黄ばんだり、黒ずんだりする。	○水に含まれている鉄分や茶渋により色が付く。	○ときどき食器を手でこすり洗いする。 ○茶渋は洗いおけなどで漂白する。
○プラスチック食器が変形する（お椀、弁当箱、など）。	○耐熱90℃以下のプラスチック食器をセットした。 ○プラスチック密閉容器のふたを入れた。	○耐熱90℃以下のプラスチック食器を入れない。 耐熱90℃以上のものでも「強力」コースでは繰り返し洗わないでください。 （☞庫内に入れてはいけないもの　P10参照）

乾燥仕上がりについて

状　況	原　因	対処方法
○食器の糸底部に残水がある。 糸底部の残水	○食器の形状やセットのしかたが悪く、水が若干残ることがある。	○『ドライ』運転を設定して運転する。（水の残りが緩和されます。） （☞『ドライ』運転とは？　P8参照）
○ガラス製食器に薄い水滴の跡が残る。	○水に含まれているミネラル分が残る。	○ときどきレモン汁や酢をつけて手洗いする。 ○すすぎ回数を増やす。 （☞ユーザー設定について　P30参照）
○「スピーディ」コースで運転したが、乾きが悪い。	○「スピーディ」コースは、「乾燥」運転の設定がないため。	○『ドライ』運転を設定して運転する。 ○乾燥させる場合は、「乾燥のみ」+「ドライ」コースで運転する。 （☞『ドライ』運転とは？　P8参照）
○庫内に水滴が残る。	○庫内や洗浄槽のふちに水滴が残ることがある。 ○室温などの条件により、乾燥が悪くなる。 ○食器の入れ方や形状により残水が残ることがある。	○洗浄槽の底や側面に水滴が残ることがありますが、異常ではありません。 ○『ドライ』運転を設定して運転する。（水の残りが緩和されます。） （☞『ドライ』運転とは？　P8参照） ○庫内や洗浄槽のふちをふきんでふき取る。

においについて

状　況	原　因	対処方法
○排水溝のようなにおいがする。	○残さいフィルターに残さいなどが残っている。	○残さいフィルターを歯ブラシなどでていねいに洗う。 （☞後始末をする　P21参照）
	○長時間使用されなかったり、「乾燥のみ」コースをよく使用すると、排水経路内のにおいをふさいでいる水が蒸発し、異臭を放つことがある。	○「標準」コースで運転する。 ○食器を入れずに洗剤やレモン汁・お酢を入れて「標準」コースで運転する。 ○お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売している「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用する。 （☞お手入れのしかた　P23参照）
○乾燥時のにおい	○残さいや油分が、ヒーターやヒーターカバーに付いた場合、熱が加わるとにおいがする。	○推奨専用洗剤を多めに入れる。
○魚などのにおい	○残さいフィルターに魚の皮などが残っている。	○残さいフィルターを歯ブラシなどで洗ってください。 ○あらかじめ食器から魚の皮などを取って入れる。
○樹脂やゴムのようなにおい	○購入後しばらくは樹脂やゴムのにおいがすることがある。	○多少のにおいが残る場合もありますが、使用上は問題ありません。

故障かな？と思ったら

製品ついて

状　況	原　因	対処方法
○ドアが引き出せない。	○まな板やさいばし・なべなど、背の高い食器が庫内に引っかかっている。	○無理に引き出そうとせずに販売店に連絡する。
○ドアの周囲から水漏れする。	○洗浄槽のふちに食べもののカスなどが固まり付着している。	○洗浄槽のふちの食べもののカスなどをふきんで拭きとる。 （☞ お手入れのしかた　P23参照）
	○本体内のふたのパッキンに食べもののカスなどが固まり付着している。	○ふたのパッキンを無理に拭かないで、販売店に連絡する。 パッキンが外れるおそれがあります。
	○食器が洗浄槽のふちより上に出ているため、ドアを閉めたとき、本体内のふたを上に押して、ふたが閉まっていない。	○ドアを閉める前に、食器や調理器具が洗浄槽のふちより上に出ていないか確認する。 ○食器などを正しく入れる。 （☞ 食器の入れかた　P11～16参照）
○排気口から泡が出てくる。 ○庫内に泡が多量に発生している。	○台所用液体洗剤を少量でも使用した。 ○食器に付いた台所用液体洗剤をすすがないで入れた。	○推奨専用洗剤を使用する。 （☞ 専用洗剤について　P18参照） ○異常報知が発生したらお買い求めの販売店に連絡する。
○庫内が白くくもっている。	○水に含まれているミネラル分のためで異常ではない。	○お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売している、「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用する。 （☞ お手入れのしかた　P23参照）
	○石けん成分が含まれている専用洗剤など、推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。	○推奨専用洗剤を使用する。 （☞ 専用洗剤について　P18参照）
○ヒーターの上にプラスチック食器が落下し、固着した。	○プラスチック製などの軽い食器が洗浄水の噴射で飛ばされた。	○販売店に連絡する。 ※軽い食器は入れないでください。
○残さいフィルターの下に水が残っている。	○排水管側からのにおい防止や、虫などの侵入防止のために水でふさいでいる。	○異常ではありません。
○運転をスタートすると、ポンプが数回止まる。	○水経路内の空気を抜いている。	○異常ではありません。
○ポンプがゆっくり動く。	○洗いやすすぎの運転スタート時や、一時停止再開時などにポンプをゆっくり動かしている。	○異常ではありません。
○運転をスタートしてもポンプが動かない。	○「強力」コースのスチーム行程ではポンプは動かない。	○異常ではありません。 （☞各コース別の所要時間のめやす　P9参照）

サービスマンを依頼される前

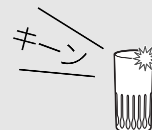
状　況	原　因	対処方法
○運転しない。	○停電している。 ○運転途中停電した。	○下表「停電」参照
	○ブレーカー（機器用）が切れている。	○下表「ブレーカー（機器用）が作動したとき」参照
	○ドアが開いている。	○ドアを確実に閉める。 『ピッ』と１回ブザーが鳴る。 ※電源が『切』の時でもブザーが鳴ります。
	○【電源】スイッチを押して電源を『入』にしていない。 ○【スタート／一時停止】スイッチを押していない。	○【電源】スイッチを押して電源を『入』にする。 （運転ランプ点灯） ○【スタート／一時停止】スイッチを押す。 （『ピッ』と1回ブザーが鳴る）
○すべてのランプが約7秒間点滅し、すぐに運転ができない。	○使用期間が10年を越え、点検お知らせ機能が作動しています。	○株式会社ハーマン点検受付センター（0120-780-137）に連絡してください。点検の案内をさせていただきます。詳細は31～33ページの『特定保守製品と点検』を参照してください。 ○点滅後は通常の運転手順で使用できます。

凍結・断水・停電・ブレーカー（機器用）が作動したときは

状　況	対処方法
○凍結	１．電源が「切」の状態で、庫内に60℃程度の湯水を約3L入れ、約60分～90分（室温15℃の場合）放置する。
	２．解凍後、【電源】スイッチを押し、電源を『入』にし、【コース】スイッチにて「標準」コースを選択し、運転を開始する。
	３．給水・排水および洗浄運転ができることを確認する。
○断水	１．【電源】スイッチを押し、電源を『切』にし、運転を中止する。
	２．断水が回復したら、他の蛇口からにごった水を流す。
	３．専用洗剤を入れ直し、はじめから運転する。
○停電	１．機器にさわらずそのままにする。
	２．停電が回復したら、自動的に停電前の状態から運転を再開する。 ※予約運転されている場合も、停電前から再開します。
○ブレーカー（機器用）が作動したとき	１．原因を対処した後、ブレーカー（機器用）を復帰させる。
	２．自動的に、ブレーカー（機器用）作動前の状態から運転を再開する。 ※予約運転されている場合も、停電前から再開します。

故障かな？と思ったら

ちょっとした疑問

○食器をセットする時に食器を割ってしまった場合どうすれば良いですか？	○食器をかごから取り出し、かごを庫内から取り出してください。 割れた破片をできるだけ取り出して、「予洗い」コースで運転してください。 運転終了後残さいフィルターを取り出し、残さいフィルターに集まった破片を捨ててください。		
○クリスタルグラスの見分け方をどうすれば良いですか？	○食器の口部分を指で弾いて、キーンと澄んだ金属音がするものがクリスタルグラスになります。 		
○庫内のにおいが気になるのですが？	○食品にはにおいがあり、洗浄中及び乾燥中に、においが出ます。 残さいカスが、洗浄槽内に残らないように定期的なお手入れをしてください。 （☞お手入れのしかた　P23参照） ・残さいフィルターを運転終了後に外して掃除してください。 ・定期的に庫内および洗浄槽のふちをふきんでふき取ってください。 ・においが気になる場合は、お近くの家電量販店・ホームセンター・スーパーマーケットで販売している「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用するか、レモン汁・お酢を少量入れて「標準」コースで運転してください。 ・「乾燥のみ」コースをよく使用される場合、定期的に「標準」コースで運転してください。		
○長期間使用しない場合の処置方法はありますか？	電気	○食器洗い乾燥機専用の電源を設けている場合	○機器専用のブレーカー（機器用）を切ってください。
	電気	○食器洗い乾燥機専用の電源を設けていない場合	○機器設置キャビネット内のコンセントを抜いてください。 （販売店に連絡してください。）
	水道	○機器設置キャビネット内の止水栓もしくは、水道の元栓を閉めてください。 （☞止水栓について　P22参照）	
○また使用する場合はどうすれば良いですか？	○上記と逆の処置を行い、「標準」コースで庫内を水洗いしてからご使用ください。 または販売店に連絡してください。		

3 ユーザー設定について

こんなときは、設定の変更が可能です。
・運転終了ブザー音が気になるとき：【運転終了ブザーの設定・解除】
・もっと念入りにすすぎたいとき　：【すすぎ回数の追加・追加なし】

〈ユーザー設定の開始〉

◇ドアを開ける。
◇電源が『切』状態で【コース】スイッチ押したまま、【電源】スイッチを2秒同時に押すと、『ピー』(2秒間)とブザーが鳴り、ユーザー設定モードとなる。
◇コースランプ・予約ランプが点灯し、現在の設定を表示する。

〈設定の変更〉

◇【コース】スイッチを押し、コースランプに「強力」コースまたは、「標準」コースを点灯させ、設定項目を選択する。
◇設定項目が選択された状態で、【予約】スイッチを押し、予約ランプに「2時間」または、「4時間」を点灯させ設定を変更する。

設定項目	コースランプ	予約ランプ	
		2時間	4時間
①運転終了ブザー	標　準	設定(鳴る)　【出荷時】	解除(消音する)
②すすぎ回数	強　力	追加なし　【出荷時】	追加(1回)

※各コースによりすすぎ回数が異なります。

〈設定の終了〉

◇【スタート／一時停止】スイッチを押すと、『ピー』(2秒間)とブザーが鳴り設定が保存され、電源『切』状態に戻る。

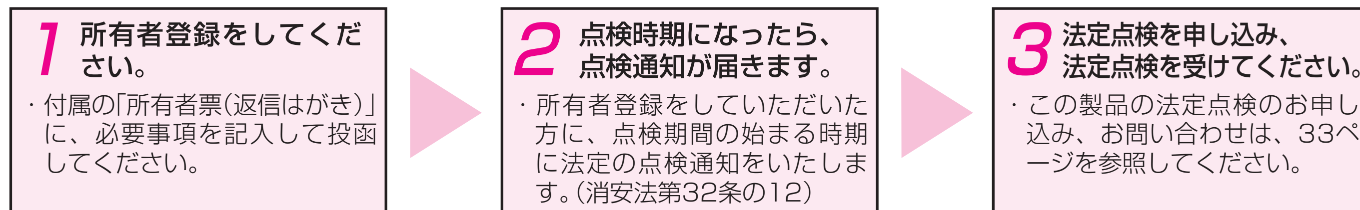
特定保守製品と点検

■特定保守製品とは

本製品は、消費生活用製品安全法（消安法）の長期使用製品安全点検制度で指定される特定保守製品です。

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況などからみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第2条第4項）」として指定された製品です。

■点検までの手順



■法定の点検期間になったら点検を受けてください

・特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に、点検を受けることが製品の所有者の責務として求められています（消安法第32条の14）。
本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。（点検は有料です）
・なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので注意してください。
・法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

■法定の所有者登録をしてください

・特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められています（消安法第32条の8第1項）。
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
・ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

■登録していただいた所有者情報に、変更がありましたらご連絡ください

・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造（輸入）事業者に変更の連絡をすることが求められています（消安法第32条の8第2項）。
引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる問合せ連絡先にご連絡ください。
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコールなどの製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

■法定の点検通知をいたします

・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします（消安法第32条の12）。
・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票（お客さま控え）」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです（消安法第32条の3）。「保証期間」とは異なるので注意してください。（保証期間は保証書を参照願います。）

<設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

1） **始期・・・** 製造年月
2） **終期・・・** 標準使用条件 JIS C9920-1に基づいて、想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験などを行い、その結果算出された数値などに基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

■使用条件

項目		条件	備考
環境条件	電源電圧	単相100V	
	周波数	50および60Hz	
	温度	20℃	中間期（春・秋）
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件	お皿	標準食器負荷	取扱説明書に記載の負荷
	コース	標準コース	製造事業者が指定する洗浄から乾燥までのコース
	給水圧力	0.03～1.0MPa	
	給湯・給水	5℃～60℃	60℃給湯がある
想定時間	1年間の使用日数 1日の使用回数 1回の使用時間	365日 2回 取扱説明書による	

《ご注意ください》

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用など本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、33ページの「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

■点検について

法定点検は、ハーマンまたはハーマンが委託した事業者が行います。

【点検の内容について】

・特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
・点検基準とは消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
・点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
・点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備（修理を含む）を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【点検の料金について】

・点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用（有料）が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。
なお、点検料金の設定の基準などや、点検要請に対して速やかに対応できるよう全国に配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

http://www.harman.co.jp/houtei/hoshu.html

※インターネットでご確認できない場合は、33ページの「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

【本製品の点検の結果必要になると見込まれる整備用部品の保有期間】

・整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保（回復）させるために必要な部品であり、補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）とは異なります。
各種整備用部品の保有期間は、製造打ち切り後11年間です。
［ポンプ　・ファンモーター　・基板　・ヒーター　・配線　・パッキン・Oリング］
※補修用性能部品の保有期間は、34ページを参照してください。

3 特定保守製品と点検

本製品の点検などに関するお問合せ先

株式会社ハーマン　点検受付センター
Tel：**0120−780−137**

【本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ】

製品を安全にご使用いただくために、月1回程度は、お客さまで日常的に点検やお手入れを行ってください。

＜点検・お手入れ前のご注意＞

・電源を『切』にし、行ってください。
・製品の使用後は、製品や庫内が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから、点検・お手入れを行ってください。

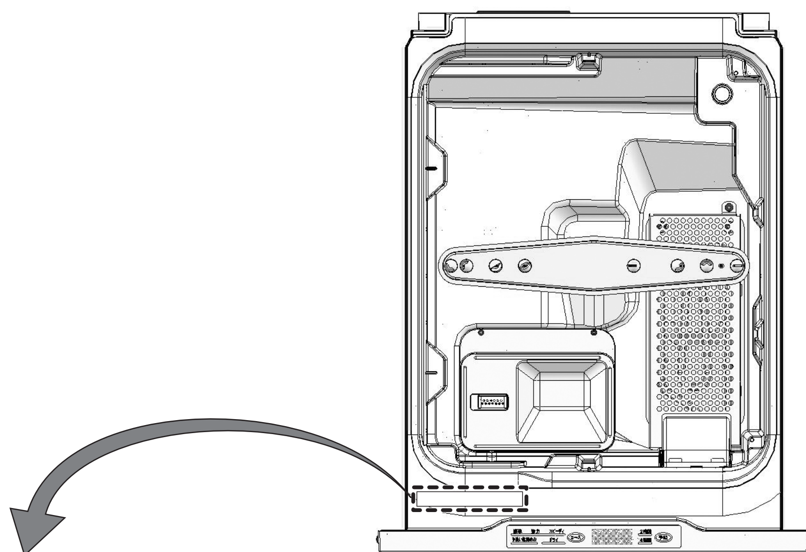
＜点検・お手入れの内容＞

・23～24ページの「お手入れのしかた」および、安全上の注意に関する項目を参照してください。
・次のような症状があれば、経年劣化の兆候と考えられますので、下記「本製品の修理に関するお問合せ先」にご連絡ください。
　−運転中に機器から焦げくさい臭いがしたり、異常音が聞こえる。
　−機器外観に異常な変色がある。
　−機器・配管から水漏れがある。
・本製品の修理に関するお問合せ先：**株式会社ハーマン　コンタクトセンター（TEL：0120−38−8180）**

【任意の定期点検について】

・製品を安心して長くご使用いただくために、法定点検の他に定期的な点検（有料）をおすすめします。
　詳しくは上記「本製品の点検などに関するお問合せ先」にご連絡ください。

■表示位置について



表示（例）

特定保守製品　　点検期間　２０２４年８月～２０２６年７月 製品名　ＦＢ４５１５　　製造年月　２０１５年８月 特定製造事業者等名　株式会社ハーマン　　設計標準使用期間１０年 大阪市此花区春日出南３－２－１０　　製造番号　１５.０８－５５０００１ 問合せ連絡先　株式会社ハーマン　点検受付センター　０１２０－７８０－１３７	点検のお知らせ 電源投入時に約7秒間ランプ全てが点滅したら点検時期です。左記に連絡ください。

※製造番号と、点検のお知らせ の表記は、2015年8月以降製造の製品に記載しています。

仕様・アフターサービス

仕　様

電源電圧	単相交流100V	**使用水量（標準コース）**	約10L	**標準食器量**	大皿 5点 中鉢 5点 小皿 5点 茶わん 5点 汁わん 5点 湯のみ 5点 コップ 5点 **計35点** 他に スプーン・フォーク・はし・包丁など
周波数	50/60Hz共用	**使用水圧**	0.03〜1MPa(0.3〜10kgf/cm^2)		
消費電力	・ポンプモーター 75W ・ヒーター 800W ・最大消費電力 875W	**洗浄方式**	回転ノズル噴射式		
外形寸法（最大）	製品最大幅448mm （本体幅408mm） 奥行574mm(パネルなし) 高さ450mm	**すすぎ方式**	ためすすぎ		
製品の質量	約20kg	**乾燥方式**	ヒーターとファンによる強制排気乾燥		

修理のお申し込み

・25〜29ページの「故障かな？と思ったら」を見て、もう一度確認してください。
・確認のうえ、それでも不都合な場合は、お買い求めの販売店または、株式会社ハーマン　コンタクトセンター 0120-38-8180（電話料金無料）に連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品番　FB4515など
2. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
3. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

電話料金無料 **0120-38-8180**
（サービスは、ハイハーマン）

・製造番号が必要な場合、洗浄槽を引き出した上面の特定保守製品ラベル、もしくは底面の銘板を確認してください。

表示（例）

上面

特定保守製品　点検期間　２０２４年８月〜２０２６年７月
製品名　ＦＢ４５１５　製造年月　２０１５年８月
特定製造事業者等名　株式会社ハーマン　設計標準使用期間１０年
大阪市此花区春日出南３－２－１０　製造番号　１５.０８－５５０００１
問合せ連絡先　株式会社ハーマン　点検受付センター　０１２０－７８０－１３７

点検のお知らせ
電源投入時に約7秒間ランプ全てが点滅したら点検時期です。左記に連絡ください。

製造番号

銘板表示（例）

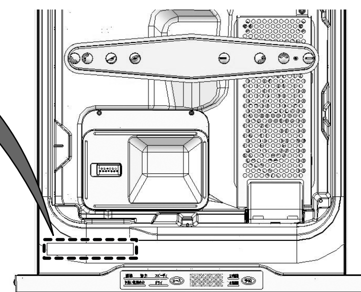
底面

電気食器洗い乾燥機
FB4515PBA
株式会社ハーマン
JET 組込形
MADE IN CHINA
SG01 S0002

電気用品安全法に基づく表示
定格電圧・周波数　100V·50/60Hz
電動機定格消費電力　75W
ヒータ定格消費電力　800W
製造番号　15.08-550001
温度ヒューズ定格作動温度　100℃
電流ヒューズ定格電流　18A

PSE
JET 水道法基準適合

製品名	電気食器洗い機
製品の型番	FB4515



保　証　書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
・無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、弊社に相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の保有期間

・この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期間は、製造打ち切り後10年間です。
但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

保　証　書

品　　番	FB4515・F45B15

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
2．保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　（イ）　使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
　（ロ）　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
　（ハ）　火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
　（ニ）　工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
　（ホ）　業務用の場所等（喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合。
　（ヘ）　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
　（ト）　塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
　（チ）　機器に表示してある電源（電圧・周波数）以外で使用された場合。
　（リ）　本書の提示がない場合。
　（ヌ）　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
　（ル）　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。

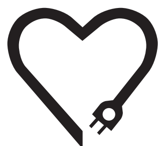
お　客　様	お　名　前	TEL
	ご　住　所〒	
保　証　期　間	お買い上げ　　年　　月　　日から1年間	
販　売　店	店　　名	TEL
	住　　所	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。
※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社ハーマン　〒554-0023
大阪市此花区春日出南3-2-10

年　月　日	修　理　記　録　（　修　理　内　容　）	サービス員㊞

愛情点検　長年ご使用の食器洗い乾燥機の点検を！



こんな症状はありませんか
・水漏れがする。
・焦げくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
・本体に触るとビリビリ電気を感じる。
・その他の異常や故障がある。

▶ ご使用中止　事故防止のため、必ず販売店に点検をご依頼ください。

修理 点検 商品についてのお問い合わせは・・・　**株式会社ハーマン コンタクトセンター　0120-38-8180**（通話料金無料）
携帯電話からのお問い合わせは・・・ **0570-064-780**（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって下記の番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関するお問い合わせ	2 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ	3 商品に関するお問い合わせ・その他	4 交換部品(消耗品)に関するお問い合わせ
■ 修理受付センター	■ 点検受付センター	■ お客さま相談センター	
【受付時間】 365日24時間 修理受付 ※修理訪問は日中、地域により休日有り	【受付時間】 ※土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月～金〉　9：00～17：30	【受付時間】※年末年始を除く 〈　月～金　〉9：00～18：00 〈土・日・祝〉9：00～17：00	【受付時間】 ※日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く 〈月～土〉　9：00～17：00
FAX (078)928-5499		FAX (078)927-5070	FAX (078)928-2311

個人情報の取り扱いについて	■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。 なお、個人を特定できない情報に加工し、サービス向上や製品開発等に利用させていただきます。 ■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。 ■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。 (1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合 (2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合 (3)法令等に基づく場合